

岩切市長 2期目の抱負



10月28日(日)、任期満了に伴う市長選挙が行われ、現職の岩切秀雄氏が再選されました。そこで今回は、市長の市政に関する今後の抱負を紹介します。なお、任期は去る11月7日から4年間となります。

みんなのふるさと 躍動薩摩川内 未来へ続く 活力ある成長へのチャレンジ!!

このたび、市民の皆さまをはじめ各方面から力強いご支援を賜り、引き続き市長として市政のかじ取りをさせていただくことになりました。

これまで、さまざまな場面に おきまして市政にご協力をいただきましたことに改めて心から感謝申し上げます。

新たな出発点に臨み、2期目に課せられた使命の大きさと重責を厳粛に受け止め、皆さまから寄せられました信頼と負託に応えられよう、これまでの経験と実行力を活かし、市政の推進に全力を尽くす所存であります。

私が市長として市政運営に携

実、行財政改革や市民サービスの向上、市民との協働のまちづくりなど、ハード事業からソフト事業へと軸足を移し、「みんなのふるさと 躍動薩摩川内」の実現に向けて、着実に前進してまいりました。

これからの4年間は、より厳しい環境が予測される中で、真の意味で本市の将来をいかに形づくっていくか、大変重要な時期になっていきます。

私は市勢発展を確実なものにするため、次の7つの基本戦略を掲げ、皆さまとともに新たな未来へ向け推進してまいります。

1 住み心地一番のまち

子育て支援を充実するとともに、高齢者を地域で支える仕組みづくりや安心して医療・福祉を受けられる環境の整備、防犯・防災対策の充実など暮らしやすさ一番のまちを目指します。

2 市民が主役になれるまち

市民の誰もがまちづくりに参加でき、地域を支える人材として活躍できるよう、地区コミュニティ協議会・自治会との連携強化のほか、ボランティア組織やNPOなどが活躍できる環境整備を支援します。

3 人材と教育・文化・スポーツが魅力のまち

学校施設の耐震化など教育施設の整備や小中一貫教育の実施など人材育成の環境整備を進めるほか、伝統ある文化やスポーツ環境などの地域資源を他に誇れる魅力として高めます。

4 産業・経済が元気なまち

産業振興を柱とした成長戦略を策定し、基幹産業である農林・畜産・水産業の経営基盤強化と6次産業化を推進するとともに、企業誘致や商工業の振興、観光の産業化、雇用・経済対策を進めながらシティセールスを展開します。

5 次世代エネルギーのまち

また、重要港湾川内港を活かした産業分野におけるアジア地域との連携交流を促進します。

6 将来への積極投資

推進中の投資事業を着実に実施するとともに、投資事業の「選択と集中」と「投資から維持への構造転換」を図りながら、地域の発展に必要な投資を着実に展開します。

また、市事業と連携した国・県事業の積極的な推進を求めます。

7 「市民の「役」に立つ市役所

市民視点のスピーディーで効率的な業務執行体制や職員意識改革などを図ることにより、市民の声にこたえられる組織づくりを進めるとともに、施設の統廃合や事業の見直しなど持続可能な財政基盤の構築に向けた行財政改革に取り組みます。

これらを実現するためには、今日の激しく変革する社会情勢を踏まえ、これまで以上の徹底した行財政改革に努めながら、職員一丸となって、市民の皆さまの声をしっかりと受け止め、ともに知恵を出し合いながら次代に誇れる「ふるさと薩摩川内」をつくっていかねばなりません。

「我を切つて個性を残せ」のこ とばを心に刻み、私心を捨て残された課題を先送りすることなく、これまでの行政経験や市長としての実績を活かしながら、市政のさらなる発展・飛躍のため、全身全霊をかけて取り組んでまいりますので、ご指導とご協力を賜りますようお願いいたします。就任のあいさつといたします。

薩摩川内市長 岩切 秀雄

12月は地球温暖化防止月間です

平成9年12月に京都で開催された気候変動枠組条約第3回締約国会議。この会議をきっかけに12月は「地球温暖化防止月間」と定められています。

地球温暖化問題は、世界で取り組まれている人類共通の課題です。

地球温暖化とは？

地球にふりそぐ太陽の熱は地球表面を温めます。また、地球も熱を宇宙に放出しています。大気中には、この出ていく熱の一部を吸収し、地球を「温室」のように暖かく保ってくれる「温室効果ガス」と呼ばれる気体が含まれています。

温室効果ガスの量が適度なら、地球全体の気温は程よく保たれ、生き物が生きていきやすい環境になります。

ところが今、このガスの量が 増え過ぎて、大気中に熱がこもり、地球全体の平均気温が上昇してきています。この状態を「地球温暖化」といいます。

※温室効果ガスは、地球温暖化の原因となるもので、赤外線を吸収する気体。二酸化炭素、メタン、一酸化二窒素、フロン類など

温暖化が進むとどうなるの？

- ① 海面水位の上昇による陸域の減少
 - ② 豪雨や干ばつなどの異常現象の増加
 - ③ 生態系への影響や砂漠化の進行
 - ④ 農業生産や水資源への影響
 - ⑤ マラリアなどの熱帯性の感染症の発生数などの増加 など
- 私たちの生活に甚大な被害が及ぶ可能性が指摘されています。

地球温暖化をこれ以上進めないためには：

地球温暖化をこれ以上進めないためには、私たちの生活や経済活動から排出される温室効果ガスを減らすことが大切です。

どうして温室効果ガスが出るの？

温室効果ガスの多くを占めているのが「二酸化炭素」です。これは私たちが息を吐くときや、石油や石炭などの「化石燃

料」を燃やすときなどに、発生します。

また、私たちの暮らしに欠かせない電気を作る時やごみを焼却する時など、私たちの生活の中でも多く排出されています。

私たちにできることは？

- 二酸化炭素の排出を減らすために、日常生活で消費する石油、電力、ガスなどのエネルギーを効率よく利用する、「省エネ」に取り組む必要があります。
- 省エネ型の機器を選ぶ
- エネルギーを無駄遣いしない
- 移動には徒歩や自転車を利用する

など、家庭で取り組めるさまざまな方法があります。

そのほか、

- 「自然エネルギー」を利用する
- ごみの減量化
- なども、地球温暖化防止に役立ちます。

まずは身近なところから取り組みましょう！

環境にやさしい設備を導入する際は、各種補助金をご活用ください！

生ごみ処理機器購入補助金

ごみの減量・資源化を図るため、生ごみ処理機器を購入された場合、下記のとおり購入経費の一部を補助します。

区分	補助の内容
補助の対象	生ごみ処理機器(家庭で発生した生ごみ、雑草などを処理し、堆肥などを生成する容器、機器)
補助金の額	購入経費の1/2(100円未満切捨て)、限度額2万円

【窓口】環境課 廃棄物対策 G(内線 2731・2733)または各支所市民生活課

【問合せ】=本庁環境課 環境政策グループ (内線 2721)

地球にやさしい環境整備事業補助金

自然エネルギー利用促進、温室効果ガス排出量削減のため、地球にやさしい環境の整備に対する補助金を交付しています。

対象設備	補助の対象	補助の金額
住宅用太陽光発電設備	自ら居住する住宅に、本市内の施工業者により当該発電設備を導入し、国が実施する補助金の交付決定を受けている方(交付決定から60日以内)	太陽電池モジュール最大出力値1kW当たり4万円(1,000円未満切捨て)、限度額16万円
プラグインハイブリッド自動車・電気自動車	自らが使用する当該自動車の購入に対し、国が実施する補助金の交付決定を受けている方(交付決定から60日以内)	国が実施している補助金額の1/3(1,000円未満切捨て)、限度額30万円
電動アシスト自転車	大型・中型・普通自動車運転免許を有して、市内の店舗で購入した方(購入から60日以内)	本体価格の1/3(1,000円未満切捨て)、限度額3万円

【窓口】環境課 生活環境 G(内線 2741・2742)または各支所市民生活課